

# 福生市議会だより

## FUSSA

No.120

発行 福生市議会  
平成10年4月25日  
〒197-8501 福生市本町5番地  
☎042(551)1511(代表)

### 平成10年 第1回定例会

## 平成10年度各会計予算を可決

## 一般会計予算 213億3千万円

対前年度比  
2.7%減

〓 自転車等駐車場条例の一部改正条例(学生の自転車駐車場使用料を割引)・平成9年度一般会計補正予算(減額補正額2億3千万円)等を可決 〓

平成十年第一回定例会が、三月四日から二十七日までの二十四日間の会期で行われました。今回の定例会では、市長の施政方針演説に続き、十人の議員の一般質問が行われた後、「平成十年度一般会計予算」等の議案や陳情の審議が行われました。

#### 本会議の経過

第一日目(四日)は、市長の施政方針演説に続き、三人の議員の一般質問が行われました。

第二日目(五日)は、前日に引き続き六人の議員の一般質問が行われました。

第三日目(六日)は、一人の議員の一般質問が行われた後、議案と陳情が審議され、各委員会に付託されました。

第四日目(七日)は、平成十年度一般会計予算(第四日目)から十三日(第七日目)の本会議において審議されました。

第五日目(十三日)は、陳情一件が委員会に付託され、

第六日目(十三日)は、陳情一件と当日追加提出された陳情書一件を審議し、今定例会を終了しました。

#### 主な内容

可決等された案件、討論	2面
10年度予算の概要	3面
一般質問	4~7面
委員会の審査、活動、陳情	8面



上：広くなったひふみ公園で元気に遊ぶ子供たち(本町25番地先)  
下：新設された牛浜駅東口公園

### 第一回臨時会

◎平成十年第一回臨時会は、一月二十九日に開かれ、議案三件が審議され、可決されました。議案と要旨は次の通りです。

- ▼福生市組織条例の一部を改正する条例  
市長公室を廃止、福祉部に介護保険準備担当を設置など組織を改正する。
- ▼福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例  
国家公務員の給与改定に準じて改定する。
- ▼福生市の一般職の職員の平成十年三月期期末手当の支給割合を定める条例  
支給割合を、百分の五十五とする。

#### 議員表彰

東京都市議会議長会では、議員として永年地方自治に功績のあった方々を表彰しています。平成9年度においては、次の方々が表彰されました。(議席順)

野口秀世  
浜中輝夫  
須釜亮次  
田村正秋

議員10年以上

#### 定例会の日程

24日	議会運営委員会
23日	道路交通問題対策特別委員会
23日	平成10年度一般会計予算審議
23日	委員会審査報告議案の審議等議会運営委員会
19日	横田基地対策特別委員会
18日	建設委員会
18日	厚生委員会
17日	総務委員会
13日	平成10年度一般会計予算審議
12日	議会運営委員会
12日	平成10年度一般会計予算審議
11日	平成10年度一般会計予算審議
10日	議会運営委員会
10日	平成10年度一般会計予算審議
6日	議会運営委員会
5日	一般会計
5日	議会運営委員会
4日	一般会計
4日	市長の施政方針演説
3月	会期の決定
2月	議会運営委員会

# 可決された案件 (要旨)

定例会に提出された案件は二十六件で、いずれも原案のとおり可決されました。その案件と要旨は、次のとおりです。

- ◆ 福生市表彰条例の一部を改正する条例  
適用除外規定を設ける。
- ◆ 福生市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例  
多胎妊娠の場合の休暇の延長と妊産婦の健康診査休暇と夏期休暇の新設。
- ◆ 福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例  
医師等の報酬額の改定と税務課、図書館の嘱託員の配置により報酬を定める。
- ◆ 福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例  
職務階級制度の導入。
- ◆ 福生市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例
- ◆ 福生市自転車等駐車場の改正に伴う改正。  
福生市自転車等駐車場の条例の一部を改正する条例
- ◆ 福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例  
市民税での特別減税関連、固定資産税での地価下落、評価替えに伴う改正。
- ◆ 福生市都市計画税条例の一部を改正する条例  
地価下落、評価替えに伴う改正。
- ◆ 福生市児童遊園成手当条例の一部を改正する条例  
福生市児童遊園条例の一部を改正するもの。
- ◆ 福生市児童遊園条例の一部を改正する条例  
ひふみ児童遊園を条文中から削除する。
- ◆ 福生市特殊疾病患者福祉手当条例の一部を改正する条例  
新たに原発性肺高血圧症及び先天性ミオパチーを加える。
- ◆ 福生市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例  
法律の改正による。
- ◆ 福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例  
地方税法の改正による。
- ◆ 福生市中小企業振興資金融資条例の一部を改正する条例  
金融機関への預託金制度の廃止、融資限度額引き上げ、償還期間の変更、利子補給の規定の削除。
- ◆ 福生市都市公園条例の一部を改正する条例  
ひふみ公園を規模を拡大し、都市公園として設置。
- ◆ 福生市消防団に関する条例の一部を改正する条例  
職員の給与と条例との関係

- ◆ 平成九年度福生市一般会計補正予算(第四号)  
二億三千六百二十万二千円を減額する。事務事業の精算、給与改定による人件費の補正など。
- ◆ 平成九年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第二号)  
一億二千二百三十七万九千円の減額。
- ◆ 平成九年度福生市下水道事業会計補正予算(第四号)  
九千九百九十六万四千円の減額。使用料の減、事業の精算、確定見込みによる補正。
- ◆ 市道路線の認定について  
市道三三八号線の認定。
- ◆ 各会計当初予算  
(内容は三ページをご覧ください)
- ◆ 平成十年度福生市一般会計予算
- ◆ 平成十年度福生市国民健康保険特別会計予算
- ◆ 平成十年度福生市老人保健医療特別会計予算
- ◆ 平成十年度福生市下水道事業会計予算

## 議員提出議案

- ◆ 福生市議会委員会条例の一部を改正する条例  
福生市組織条例の一部改正に伴う委員会所管の改正。
- ◆ 平成十年度福生市一般会計補正予算(第一号)  
国都よりの交付金、補助金確保に対する不安、特別減税や景気低迷による市税の伸び

**賛成**

精神障害者共同作業所新築の設計委託費が計上されるなど民生費の支出は四・六%増で全体の三十一・七%と大きなウェイトを占め、教育費には各学校の耐震補強工事費も引き続き計上され、また念願の部活動の外部指導員制度の導入、教育相談員の増員など二十一世紀の福生市を目指し、多様な市民のニーズにこたえられる予算となっている。総務費の一部に若干気になるところがあるが、大変厳しい中、理事者と職員が一丸となってコスト意識をしっかりと持ち、市民サービスの向上に格段の努力をしていただくことを強く望み、賛成する。

**反対**

自転車駐車場やごみ収集の有料化、学童保育保護者負担の増など行革による受益者負担を増大させ、強い要望のある中学校給食に依然として踏み出さず、業者負担販売にしがみつく。不況が長期化する中このように市民に負担の強化を求め、一方、田園西土地地区西整理事業など特定の地主のための開発事業に湯水のように財政をつぎ込み、積立金も二十七市中一位と依然として高い水準にあり、財政運営に大きな問題があるなど市民要求に背を向けた十年度予算に反対するとともに、二十一世紀に向け基地をなくす方向を一層鮮明に打ち出すよう要求する。

**賛成**

老人保健制度がスタートした昭和四十八年に比べ平成七年度は国民所得が四倍、国民医療費は六・八倍、老人医療費は何と二十・八倍と加速度的に伸び、一方それを支える現役世代の構成割合は少子化も手伝い低くなった。そうした世代間の不公平をなくすため昭和五十八年に有料化が導入されたが、老人にとり一部負担金を支払うのは異論あることとは言い、それを支えている現役世代の医療保険料の大幅な負担増を考えればやむを得ない措置であり、またその改正は高齢者に無理のない、理解の得られる範囲であり、本予算に賛成する。

**反対**

老健法は昭和五十八年に施行後、改悪を重ね高齢者の生活を苦しめてきた。昨年四月の消費税五%アップに加え、さらに昨年九月、政府は患者の一部負担金の増を図り、入院給食費の増など高齢者の医療費負担は増加の一途をたどり、病院に行くこともままならない大変な状況になっており、激しい怒りを感じる。高齢者が安心して暮らせ、医療が受けられるよう、市長にこたえては政府にこのような悪法を直ちに廃止し、改悪をしないよう強く申し入れをし、また高齢者福祉の充実を図っていただきたい。なお医療費額や患者一部負担金額が計上されていないなど不備な本特別会計予算に反対する。

## 討論

今定例会の二十七日、「平成十年度福生市一般会計予算」を初めとする三議案及び「乳幼児医療費助成制度における所得制限の撤廃を求める陳情書」を初めとする四件に対し、賛成、反対の討論が行われ、いずれも可決等されました。ここでは、討論のあった議案の中から二件の要旨を掲載しました。

**平成十年度福生市一般会計予算**

**賛成**

**反対**

**賛成**

**反対**

12日	米空母艦載機飛行訓練 中止要請行動 福生市国民健康保険運営協議会	23日	東京都市収益事業組合 議会
13日	全国市議会議長会基地協議会役員会	24日	農業委員会 多摩地区離職対策連絡協議会役員会
14日	都市計画審議会 東京都市収益事業組合議会	25日	例月出納検査 東京都市三多摩地域廃棄物広域処分協議会
16日	議会運営委員会(市議会だより編集会議)	27日	西多摩衛生組合協議会
20日	定期監査	3月	平成十一年第一回定例会(一日目)
23日	農業委員会	4日	平成十一年第一回定例会(一日目)
26日	議会運営委員会	5日	平成十一年第一回定例会(二日目)
27日	瑞穂斎場組合議会行政視察(28日まで)	6日	平成十一年第一回定例会(三日目)
28日	例月出納検査	10日	平成十一年第一回定例会(四日目)
29日	第一回臨時会	11日	平成十一年第一回定例会(五日目)
30日	滋賀県守山市議会視察 来市	12日	平成十一年第一回定例会(六日目)
2日	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会	13日	平成十一年第一回定例会(七日目)
3日	表彰審査委員会	17日	建設委員会
5日	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会	18日	厚生委員会
12日	東京都市議会議員研修会 協議会(6日まで)	19日	総務委員会
13日	青梅、羽村、福生地区都市下水路組合協議会	23日	道路交通問題対策特別委員会
16日	瑞穂斎場組合協議会	24日	議会運営委員会
18日	大阪府箕面市議会視察 来市	27日	平成十一年第一回定例会(八日目)
19日	東京都市議会議長会総会	30日	全国市議会議長会基地協議会関東支部役員会 例月出納検査
23日	西多摩農業共済事務組		





▲平成10年度一般会計予算は本会議において起立多数で可決

# 平成10年度 予算の概要

一般会計の予算総額は二百十三億三千六百七十三万七千円で、前年度と比較し二・七％の減となっている。その主な理由は、市民会館冷暖房機改良事業、市民会館立休駐車場建設事業、福生保健所用地及び建物取得事業等が終了したことによるもの。

歳入は、景気回復の遅れに伴い、市税収入の伸びや、国の補助金等の伸びが期待できず、起債の活用、基金の取崩しにより、対応することとなっている。

歳出の主なものは、都市基盤整備として、引き続き福生駅西口駅前通り整備事業の促進、銀座通りの改良事業や市

道の新設及び改良事業、田園西土地区画整理事業の推進に向けた事業費の計上、公園整備として、牛二公園（仮称）新設事業及び鍋ヶ谷戸児童公園拡張事業費の計上、住宅対策として第四市営住宅建設事業の実施設計委託料の計上、教育施設整備として、小・中学校の耐震補強工事、福生地域体育館駐車場新設事業、中央図書館冷暖房機改良事業、さくら会館改良事業費の計上、プチギャラリーの改良事業の設計委託料の計上、福祉施策として、引き続き高齢者在宅サービスセンター事業費の運営委託料の計上等となっている。

## 予算の審議から

今定例会に、平成10年度一般会計予算と特別会計予算を合わせて三百十九億四千九百四十六万二千円が提出され、一般会計予算は本会議において審議され、また、特別会計については、建設委員会、厚生委員会において審査された結果、原案のとおり、可決されました。

平成10年度の一般会計予算は三月十日（火）から十三日（金）、及び二十七日（金）にわたり本会議において審議されました。ここでは、その中から、一部の質疑（要旨）を掲載しました。

### 市内在住の軍人・軍属の影響額は

問 市内在住の軍人軍属がどのような形で歳入、歳出に影響を与えているか。ごみの収集、軽自動車、住民税、人件費について伺いたい。

答 ごみ処理費は六百九十七万五千三百四十八円、軽自動車税は七十二万四千五百円、

年度に評価替えが行われ、評価の基準に変化があったのか。

答 助成交付金の対象資産である大蔵省所管分の資産の増によるものである。

業務を行っており、一番多いのは介護にどんなサービスを提供できるかということ、デイサービス四十七件、ショートステイ四十八件である。痴呆性デイホームは利用登録者は現在十一人。二月一日現在で延べ利用は五百十五人、一日平均三人程度。

### 狭隘道路の拡幅整備費どこに計上か

問 実施計画書に狭隘道路の拡幅整備に十年から十二年まで三年間で四千三百九十万円が予定されている。予算書の中にこの金額に相当するものが見当たらないが、市道改良事業

### 非行の具体策は

問 青少年のナイフ事件や教師の覚醒剤事件まで、さまざまなニュースが流れているが、中学生非行に対する具体的な取組策の考えは。

### 市営プールの収入の減理由は

問 市営プールの収入が減少しているのは使い勝手が悪いからとのことだが、どこが悪いと考えているか。

充実し、情熱と意欲を持って取り組んでいくことに主眼を置いており、さらに教育相談室の充実、組織面での連携プールの充実を図っていききたい。

### 学校施設等整備基金の利用方法は

問 学校施設等整備基金は三十億円近くになるが、施設等なのでかなり柔軟に使えると思うが、どのような形で使おうと考えているか。

答 新設、建て替えのほか、に改修その他にも使える基金になっており、今後のことは第三期の基本構想の中で具体的に考えていくと思うので、その辺が目安になると思うが、学校を急いでつくらなくてもいいという状態になれば学校整備費に充てていくというところも考えられる。

### 基地交付金の増の理由は

問 国有提供施設等所在市町村助成交付金は前年度に比べふえているが、これは前々

### 介護支援センターなどの現状は

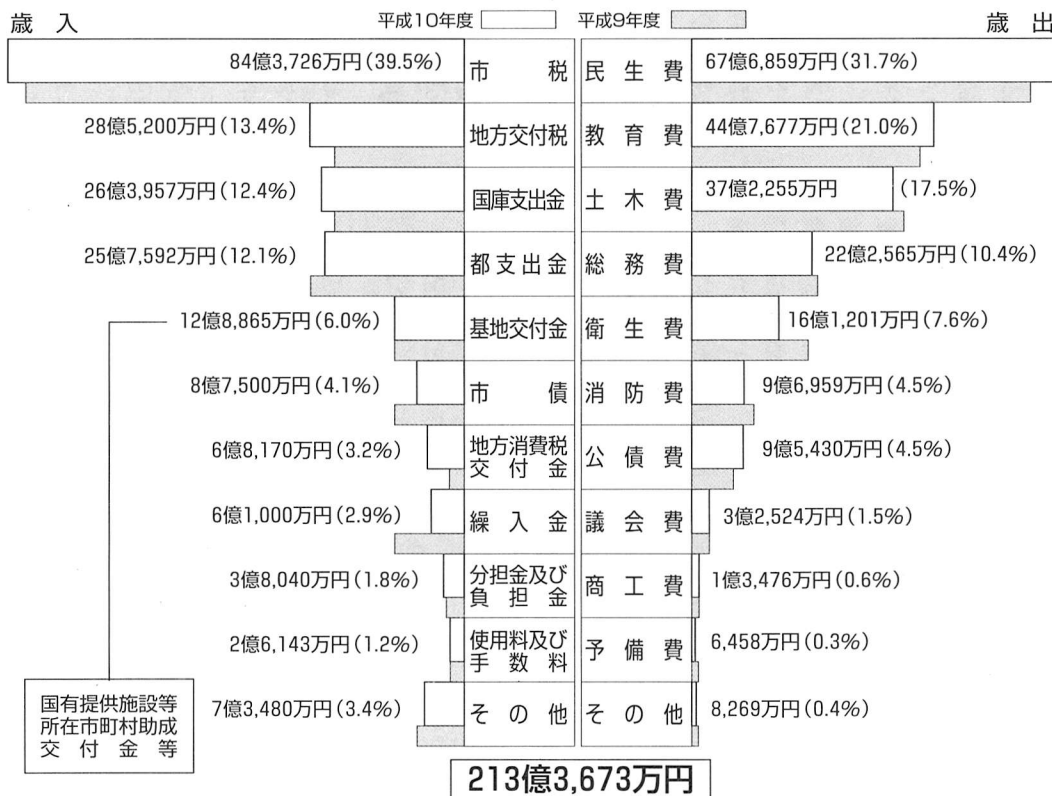
問 在宅介護支援センター、痴呆性デイホームの現状と内容、登録人数は。

答 介護支援センターは二月一日現在で約五百件の相談

## 各会計予算規模 (人口 平成10.1.1現在 62,224人)

会計区分	平成10年度	前年度比較%	市民1人あたりの額
一般会計	213億3,673万7千円	-2.7	34万2,902円
特別会計			
国民健康保険特別会計	33億4,646万9千円	3.1	5万3,781円
老人保健医療特別会計	32億4,077万6千円	7.8	5万2,082円
下水道事業会計	31億849万1千円	12.6	4万9,956円
受託水道事業会計	9億1,698万9千円	-1.0	1万4,737円
合計	319億4,946万2千円	0.2	51万3,458円

## 平成10年度一般会計予算の内訳



# 一般質問

## (要旨)

### 市政のここが聞きたい

今定例会では、十人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり市長にたずねました。四〇七面にその主な項目を掲載しましたが、紙面の関係から、すべての項目が掲載できません。詳しくは、会議録を図書館でご覧ください。なお、この一般質問の内容は、質問議員に確認をしております。

### ごみ焼却器補助制度など

#### 今後どうするのか

小嶋英男 議員

質問 ごみ減量の方法には多くの施策があり、当市は数年前より焼却器購入補助制度を設け大きな効果があった。市民の多数に協力をいただいたごみ焼却器の販売数と、その効果は。また、補助制度を含め今後の対策はどのようになるのか。

市長 私たちは豊かで便利な生活を求め、大量生産、大量消費をしてきたが、そのツケが大量のごみの排出を生み



▲ごみ減量の工夫と取り組みは急務

出し、新たな問題を引き起こしている。このため市では、ごみの自家処理を促進し、ごみ減量、削減を図るため平成五年度から家庭用ごみ焼却器購入費補助制度を設け、平成十年二月の段階で四百二十六基、七百八十六万円の補助をし、年間約百三十五トンのごみが自家処理されたと想定され、ごみ減量及び最終処分場の延命化に貢献してきた。しかし焼却過程で生成されるダ

### 防災の啓発活動は

質問 ①地震等自然災害発生の防止は不可能だが、普段の備えて被害の軽減は図れる。市民への啓発活動はどう考えているか。

②現在整備されている防災行政無線のシステムとその整備の経過を伺いたい。市民が安心して生活でき、災害時に的確な情報が得られるよう、難聴地域に過去、どのような対応がなされたのか、その経過を伺いたい。

市長 ①啓発活動は大変重要であり、「自分たちの街は自分たちで守る」というスローガンのもと、地震に対する意識の高揚、緊急事態への備

え、防災体制の強化等災害に強いまちづくりへの啓発をし、また地域での市民自主防災組織の充実・強化を図るために防災訓練の取り組み等により避難所、備蓄庫の確認、協力体制づくりをはじめ、消防署など関係機関との連携を図っていきたい。

②防災行政無線は固定系と移動系の二システムがあり、固定系は設置当初は三十二カ所の屋外受信機で情報伝達していたが、難聴地域発生で平成元年、七年、八年と増設を

### 横田基地について

遠藤洋一 議員

質問 ①一月に行われたNLP(夜間離着陸訓練)は九日の夕方訓練開始と同時に突如通告があり、今回の訓練は土、日曜を挟み長時間にわたり、また二十三時五十九分までと深夜に及ぶ訓練通告であったが、通告の状況とNLPの現状は。

②平成五年にドラム缶に換算して約三百四十本分の燃料漏れがあり、米軍は漏れた油の回収をずつとじてきている

が、最近の現状は。市長 ①一月九日夕方、訓練開始と同時に国より、九日から十三日までと予備日として六日間にわたり二十三時五十九分まで並びに米側の急な運用上の所要で実施する旨の文書通告があり、その場で強く抗議、中止要請をした。訓練後も国、基地等への中止要請をしてきた。この間の飛行回数は千九百九十一回、周辺市町、横田防衛施設事務所に百



▲滑走路に向かう基地の輸送機

三十七件の苦情が寄せられ、このうち当市には八十件もの強い抗議、苦情が来た。

②平成九年十二月五日現在の総除去量は漏出燃料の約八十四%、約五万七千リットル余で、平成十年の十月ごろには除去作業の完了を予定しているとのことである。

### その後どうなっているか ひまわり共同作業所と福生駅エレベーター

質問 ①老朽化したひまわり共同作業所の建物について、何らかの形で施設貸与を研究することへの今後の経過は。また、予算への反映は。

②体の不自由な人、高齢者等のために自由通路へのエレベーターの設置はその後どうなっているのか。

市長 ①昨年十月以来数回打ち合わせをし、保健センター敷地内のバス用車庫を撤去し、総二階建て、百五十平方メートルの建物の計画ができた。十年度当初予算で設計費を計上、六月議会の補正で工事費の計上を考えている。

②エレベーター設置検討調査委託の結果、西口はプチギヤラリーを活用した設置案が最適であり、設置へ向けて、十年度予算に社会教育費中、展示施設費に設計委託料千五百万円余を計上した。東口はJRや関係地権者等の協力が得られる案を検討していきたい。

建設部長 ②西口のプチギヤラリーを活用したエレベーター設置案の概要は、西口の青梅側階段を狭くして、そこにエレベーターを設置し、プチギヤラリーの二階を経由して自由通路へとつなげる案であり、エレベーターは駅利用

## 一般質問項目

(質問順)

- 小嶋英男 議員
  - ごみ対策について
  - ごみ減量と啓発活動について
  - 公園対策について
  - 南公園の利用について
  - 防災対策について
  - 市民に対する啓発活動について
  - 防災行政無線の難聴地域への対応について
  - 斎場対策について
  - 市民の利用状況と今後の考え方について
  - 都市基盤整備について
  - 都市計画道路3・4・2号線(多摩橋通り)の拡幅計画の進捗状況について
- 松山 清 議員
  - 基地問題について
  - 離着陸訓練と市の対応について
  - 自転車駐車場について
  - 利用者に重い負担の有料化条例を廃止する考えについて
  - 中学校での業者弁当販売について
  - 生徒の利用状況と今後の方向をどのように考えているか
- 遠藤洋一 議員
  - 横田基地について
  - 1月のNLP(夜間離着陸訓練)について
  - 米海兵隊の東富士での実弾演習について
  - 燃料漏れ事故のその後の処理について
  - 航空機騒音について
  - 福祉行政について
  - ひまわり共同作業所の施設について
  - その後の経過について
  - 福生駅エレベーター設置について
  - 教育行政について
  - 学区の自由化等について
- 森田昌巳 議員
  - 都市基盤整備について
  - 五丁橋通り八高線ガードの拡幅、かさ上げ改修工事の進捗状況について
  - わらつけ街道の交通安全施策について
  - 山王橋通りの交通安全施策について
- 田村正秋 議員
  - 教育行政について
  - 外部指導員の導入等について
  - 小中学校における防犯対策等について
  - ごみ対策について
  - ダイオキシン対策と減量対策等について
- 原 敏子 議員
  - 福祉行政について
  - 介護保険法と福生市の高齢者福祉について
  - ごみ行政について
  - 今後の福生市のごみ収集

者との併用使用を考えている。また、プチギヤラー内を通路として使用するため、通路として使用する部分の面積をプチギヤラーの増築とし

### 介護保険法

#### その問題点は

原 敏子 議員

質問 「保険あつて介護なし」と言われる介護保険法だが、特別養護老人ホームへの入所は認定審査会の審査判定結果と、その要介護度による利用料支払いができる高齢者に限定されるとなると、特養老人ホームへの入所は大きく制限されることが考えられるが、市長の見解はどうか。また保険料の支払いは国民健康保険加入者の場合国民健康保険に上乗せされることだが、国民健康保険加入者の介護保険料はどのように具体的に決められるのか。

市長 制度の具体的内容は今後、法に基づく政省令等により明確になるが、現時点では示されていない。国、都の関係資料等によると、特養老人ホームの入所者の処遇については、介護保険制度では要介護認定を経て、重度、痴呆、最重度のケースが入所者とな

て補い、更にはその増築も四階建てとし、エレベーターは四階まで使用できるように計画している。

ある。

### どう変わる ごみ収集

質問 きめ細かいステーション方式で可燃ごみを毎日収集しているが、収集回数や方法等が見直され、特に今のステーション方式から個別収集に変えるというのだが、アパート、マンションはどうしていくのか、またメリット、デメリットも含め今後のごみ収集についての市長の見解は。

市長 ニッ塚最終処分場を構成する自治体には、ごみ持ち込み量が割り当てられており、これを各市町が守っても使用年月は十六年間程度である。当市への割り当て量も毎年削減され、平成十五年度には三十五%も少なくなる。また、容器法の施行により資源収集品目の拡大や週四時間制の労基法の遵守等が求められる。このことから、廃棄物減量等推進審議会にごみ行政のあり方を諮問し、その答申を受け、収集日数を週五日とし、可燃を三日、資源を二日制にし、可能な限り戸別収集で対応するとする見直しを考えている。

これにより、責任ある排出が期待され、資源収集品目の拡大による分別の徹底から処分場の延命が図られる。身近な場所への排出といった効果と同時に、収集日の減少等のデメリットもあり、今後も慎重に対応したい。

### 自転車駐車場有料化の廃止を

松山 清 議員

質問 昨年十二月議会で自転車駐車場有料化条例を可決し、一カ月二千円の使用料で年間約八千三百万円の利用料を見込んでいたが、利用者には重い負担となるものである。不況が長引き、回復の兆しが見えない状況の中、地方自治体として住民の負担軽減を図ることが求められるが、なぜ二千九百万円の財政支出削減のために八千三百万円の負担をしなければならぬのか、なぜ委託先が天下り財団なのか疑問である。今議会で条例の一部改正により学割の導入が提案されるが、これが実施されても基本的にかわるものではない。部分的な改正ではなく、きつぱりと条例を廃止することを求めるがどうか。

市長 自転車駐車場の設置にあたっては用地取得費、工事費として約十一億五千六百万円、その後の管理費として駐車場整備費、用地の地代、放置自転車撤去費などで約三千八百万円が支出され、市議会、行政改革推進委員会からも行政サービスの受益に際した負担の適正化として有料化が指摘されたものである。また、運営は駐車場管理のノウハウを持ち、全国的に管理実績が十分ある「財団法人自転車駐車場整備センター」に委託するもので、先の条例改正では生活保護受給者、障害者手帳の保持者、児童手当・児童育成手当受給者を利用料金免除としていたが、さらに学割の導入により受益に

応じた負担を願いつつも利用者への負担軽減を図ろうとするものであり、理解願いたい。



▲使用が有料になる自転車駐車場 (福生駅東口臨時自転車駐車場にて)

### 中学校業者弁当販売 今後の方策は

質問 この件についてはたびたび質問しているが、最近、メニューを複数化したことにより

のだが、そうしたことによりどのような利用状況となっているか、またそれらを踏まえて今後の方向をどのように考えているのか伺いたい。

教育長 弁当を持参しない中学生を対象に始めたデリバリーランチも本年で一年五ヵ月を経過したが、一月までの利用状況としては三校の合計注文数が三千七百四十六個、一日当たり平均十八個程度となっており、利用している生徒は固定化している状況である。

### 五丁橋通り八高線ガード 改修工事の進捗状況は

森田昌巳 議員

質問 五丁橋通り八高線ガードの拡幅、かさ上げ改修工事については、昨年八月の福生消防署熊川出張所の開所により災害や緊急事態への対応を進めているようであるが、

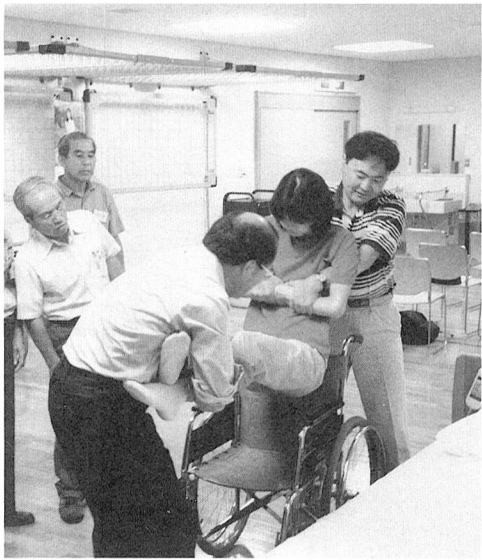
沼崎満子 議員 ◎金等の見直しについて ◎経常経費の見直しについて ◎財政の長期的見直しと対応について ◎受益者負担について ◎友好都市について ◎友好都市の選択について ◎新都市連絡協議会(45都市)との友好関係について ◎児童・生徒の健全育成について ◎学校と保護者の連携について ◎家庭教育に対する社会教育の役割について

山下 進 議員 ◎道路対策について ◎都市計画道路3・4・2号線(多摩橋通り)の立体化について ◎都市計画道路3・4・31号線(柳通り)延長の拡幅について ◎市民生活について ◎中小零細企業者に対する融資の状況について ◎学校教育について ◎私学助成の充実について

吉沢嘉壽 議員 ◎財政運営について ◎自主財源の確保について ◎国・都の交付金、支出

小・中学生の通学路の安全確保、地域の人たちが安心して行き来できる生活道路として早急な改善を願っているが、進捗状況を伺いたい。

市長 八高線と立体交差している鍋ヶ谷戸の架道橋部分は道路幅員が約三・七メートルと狭小で、地上高も二・四メートルと低く、ネックの場所となっており、昨年八月に開所した福生消防署熊川出張所の消防活動や歩行者の安全確保の面でも支障を来していることから、八高線の複線化工事とあわせて問題解決を図っていかねばならないと考えている。JRでは複線化に向けて平成十二年度末には用地買収を完了したい意向とのことであり、市としても時期を逃さず改良できるよう協議を進めてはいるものの、架道橋部分のかさ上げに伴う八高線の線路勾配の基準内確保や工事費の自治体負担など問



▲社会福祉協議会では男性による介護講座も開催されている



▲拡幅等の改修が望まれる五丁橋八高線ガード

題が山積している。いずれにしても、施行可能な方法を見出すべくJR東京工務事務所と協議していきたい。

### わらつけ街道等の交通安全対策は

質問 わらつけ街道は国道十六号線のバイパスとして利用者も多く、朝晩の通勤時の交通量は特に多い。スピードの出しすぎや自転車・歩行者の路地からの出会い頭の交通事故等に住民は毎日不安を持っているが、路面表示は消え、狭い歩道区分、左右の見通しは悪く交通安全対策は十分とはいえない。また山王橋通りの国道十六号線武蔵野陸橋下のガード付近は利用者も多く、朝晩の通勤時間帯は昭島方向への車で交通渋滞をおこすところであるが、道幅が狭いうえに、水はけが悪く、雨の日は大変で、拝島駅を利用する人たちは不便を感じている。安心して歩ける歩道の確保が

できないか。

市長 わらつけ街道は幹線道路にもかかわらず道路幅員が六メートルと狭いこともあり、外側線によってのみ歩車道分離を図っている状況にある。歩行者が交通事故に遭わないよう、また、ドライパーも交通事故を起こさないようカラー舗装や道路標識を設置し事故防止につとめているが、今後は現地確認をして適切な対応をしていきたい。また、山王橋通りも幹線道路にもかかわらず道路幅員が六メートルと狭く、十分な歩道の確保ができない状況にある。

ご指摘の箇所は片側歩道で段差解消も十分でないうえに、降雨時の水はけが悪い状況にあるが、現在その周辺で下水道雨水幹線工事を施行中であるので、道路の側溝等の改修を含めて適切な対応をしていきたいと考えている。

### 学区の自由化や部活動の外部指導員導入を

田村正秋 議員

質問 ①来年度入学の児童生徒に対し現在住んでいる地区から市内他の地区へ入学できる方式の運用には注目

しているが、運用システムと教育委員会内部の検討・研究結果は。

②中学校の部活動外部指導員導入は、指導技術を持つている方の協力で少しずつ実現しているが、身分保証や障害保険等の検討と対応は。

③中学生による事件が問題となつている時期であり、防犯対策についての重要性が高まっているが、教育問題としてさらに検討すべき思うがどうか。

教育長 ①学区は教育委員会が指定しているが、選択の機会に対する配慮が欠けるとの指摘もあり、文部省の通学区の弾力的運用についての通知を受け、これまでは長期にわたるものについては、いじめ、心身の障害等によるものしか変更を認めなかったが、転居等による変更も認めるなどの改正を行い既に実施している。

②中学校の部活動外部指導員は一校当たり年間延べ百回まで、小学校の水泳指導補助員は年間延べ十四回まで導入して安全管理の充実を図るが、今後とも保護者や地域の皆様の御支援、御協力をいただきたい。

③各学校では学習に無関係の品物を持ってこないよう指導を行い、現在刃物を所持して登校している事実は把握していないが、事件が発生しないよう規範意識を育てる指導、道徳教育の推進、将来への希望を持たせる進路指導の徹底、信頼関係に基づいた教育を徹底していきたい。



▲部活動の技術向上には外部指導員の協力も欠かせない(第二中学校の野球部活動にて)

### ダイオキシンとごみ減量の対策は

質問 焼却の際、塩化物や

ピニールからダイオキシンが微量ではあるが発生するという研究発表があり、市内の小・中学校での小型焼却炉の撤

廃は非常にスピーディな対応であった。また市民に減量を呼びかけている焼却器購入の際の補助金の設置や、コンポスト貸し出しによる三百五十

り一層の徹底を広報等を通じてPRし、また廃棄物減量等推進委員会からの、ごみ及び資源の収集方法の答申に基づき、収集日数の見直し、資源収集品目の充実などについて調査、検討を加え、ごみ排出段階での減量対策の工夫を講じてこの影響の回避に努めている。市民には分別排出のよ

### 交通安全対策と防犯対策を

沼崎満子 議員

質問 ①福東地区の交通安全対策は、横断歩道のカラー化や交通信号機の適正な配置など実現可能なものから早急に実施していくとのことだが、その後の経過は。

②福東地区の防犯対策として、拝島駅北口付近への交番設置についての進捗状況は。

市長 ①福東地区は主要な幹線道路が交差し、交通量が多く、恒常的な交通渋滞を引き起こし、付近の方々には御迷惑をおかけしている。

②拝島駅北口付近は急激な宅地化が進み、犯罪等も増加傾向にあるが、今後とも人口の増加、犯罪等の増加と複雑凶悪化が予想される中で交番の存在が重要になってくると思われ、福生警察署と数度にわたり事務的に折衝してきたが、今後もさらに設置に向けて強く要望していきたい。

### 図書館に弱視者対策の充実を

山下 進 議員

質問 ①睡眠中の赤ちゃんが突然死亡する原因不明の死を乳幼児突然死症候群(略してSIDS)は生後七日から一歳までの死因の一位を占め、年間六百人の小さな命が失われている。昨年から家族の会がキャンペーンを始め、仰向けで育てる、赤ちゃんを一人にしない、暖め過ぎに気をつける、たばこをやめる、母乳で育てる、など育児環境に気をつければこの病気が減らせることがわかってきたが、行政としてどう認識し、実態を把握しているか。

②啓発運動として母子手帳交付の際にパンフレットを渡す。妊産婦の講習会での学習、予防キャンペーンなどが考えられるが、市としての考えは。



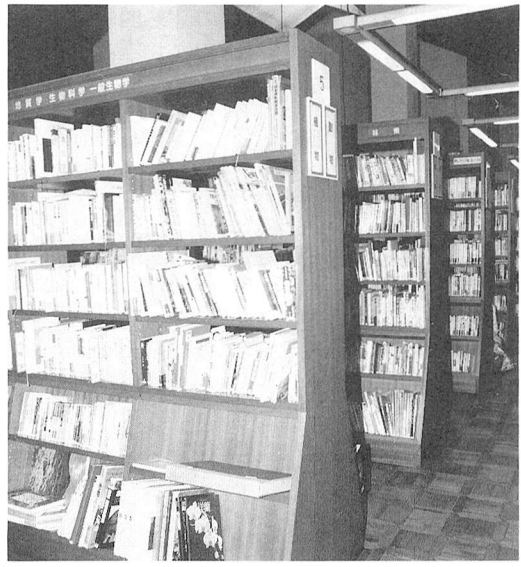
▲交通渋滞する16号線と五日市街道交差点

質問 視力障害の方は日常生活においても活動、行動の範囲が大変狭められ、その状況の中で読書は健常者の数倍の大変価値のあるものと考えられる。最近には目に障害を持つ方のためにいろいろな器具が開発されているが、福生市の状況はどうなのか、利用状況を調べて伺いたい。

教育長 図書館としてはあらゆる年齢層にわたる利用者、また障害を持つ方々にも同様のサービスが提供できないかと考えており、弱視者対策として拡大読書機を中央図書

館、武蔵野台図書館に設置している。整備以外では大活字本が三百八十冊、視覚障害者が聴読できるようカセットテープに録音した録音図書テープを所蔵している。また、定期刊行の雑誌を録音収録したテープ雑誌は、全国の点字図書館、公共図書館、ボランティアグループで二百五十種類以上製作されており、製作館に申し込むと継続して借り受けることができる。福生市でも三十九タイトルのテープ雑誌を中継して利用者に貸し出しており、平成八年度の利用

状況は、録音図書テープ、テープ雑誌あわせて二千四百三十七巻、月平均二百三巻の郵送による貸出サービスを行っ



▲障害者に充実した対策が望まれる図書館 (中央図書館にて)

ており、障害を持つている方も同じようなサービスが受けられるよう今後も充実を図っていききたい。

### 多摩橋通りや柳通りの道路対策は

質問 ①我が福生市にとって最も未成熟なのが道路整備ではないかと思うが、舗装率が高いということではなく、効率性、安全性、合理性の定義の中の道路整備が必要である。陸橋通りの拡幅が具体化したことは何よりだが、全体の道路整備の遅れというのは以前から感じていた。その中で多摩橋通りの立体化について現在の状況は。

市長 ①多摩橋から新奥多摩街道までは整備済みだが、原ヶ谷戸方向へ向かつては未

整備状態で、沿道関係者には大変迷惑をかけている。地元には昨年五月に経過と現況説明を行い、八月に東京都建設局から説明があり、都としては重要な路線としての認識は持っているが、現在の財政状況からは架通り、陸橋通り、多摩橋通りを一挙に整備することは難しいとのことであった。

②柳通りの拡幅整備で都道一六五号線から福生本町交差点までの間は、平成六年度に国の道路交通安全対策費により整備を実施したが、都道一六六号線との管理替えを東京都と協議しており、都道としての位置づけ後、都の制度を採用して市施行での整備を考えており、平成十一年度には現況測量を計画している。

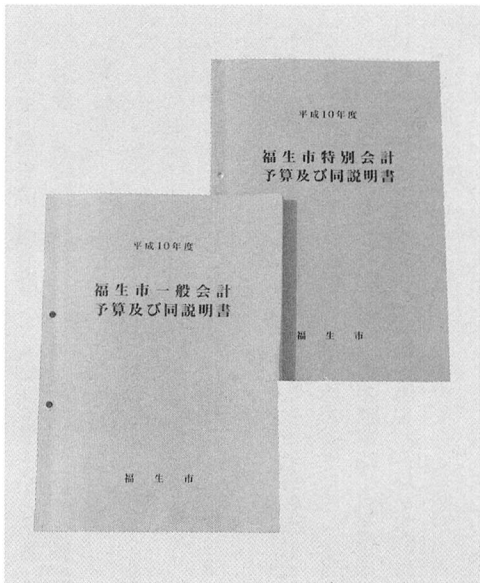
市長 ①多摩橋から新奥多摩街道までは整備済みだが、原ヶ谷戸方向へ向かつては未

### 財政運営について

吉沢嘉翁 議員

質問 ①市税収入の見直しと徴税方法、滞納繰越分の収納方法、自主財源の確保は。②依存財源の高い当市にとって国や都の交付金、支出金の確保は重大だが、国や都の動向、確保の方法は。③中長期的に見た経常経費の推移、削減策は。④財政の長期的な見直しと財政を悪化させないための対応策は。⑤受益者負担の適正化についての考えは。

市長 ①納税機会の拡大を図るため新たに郵便局での納税ができるようにし、滞納整理については、滞納者と面談により状況にあった納税指導、滞納整理の強化を図る。また、受益者負担の適正な見直しにより自主財源の確保に努めていきたい。



▲財政計画に基づき編成される予算

### 児童・生徒の健全育成について

質問 昨今報道の憂慮される子供たちの状況は、原因が

どこにあるか追求し、心の触れ合う信頼関係がなくては現状を改善、打開することは難しい。子供のしつけや道徳、倫理教育は家庭と学校が連携して始めてできる。家庭は学

校に、学校は家庭にその責任を負わせるような状況では健全な育成は不可能だと思いが、学校と保護者の連携による心の教育の方策は。

また、家庭教育に対する社会教育の役割も大きいと思うが、公民館活動や地域活動を通じて保護者に対する青少年健全育成の啓発講座、情報交換、指導方法は。

教育長 生命尊重、自他を大切にすることを望ましい生き方は、まず親が我が子に繰り返し語り、みずからの姿をもって教え、保護者同士、市民同士が意見交換し、相互に啓発しあ

### 老化予防に音楽療法を

今林昌茂 議員

質問 ①高齢化社会に向け福祉の増進が必要であり、地域社会福祉振興事業は今後も進めていかなければならない重要課題の一つであるが、都社会福祉協議会の運営に対する補助金の見直しを示唆しているが、どのようにしているのか。

②音楽には言葉では届かない心の内面に働きかける力があり、音楽を通して適度な刺激を脳に与えると心身の発達を促し、老化による障害の予防や改善に役立つと指摘をされておられ、この音楽を使って痴呆症のリハビリに活用する音楽療法が注目を浴びている。

音楽療法が導入されているが、欧米では五十年前ほど前から音楽療法が導入されているが、痴呆性高齢者や知的発達障害者のリハビリを現在行っているかどうか。

市長 ①地域の社会福祉協

いながら家庭・地域・学校が合い携えて児童・生徒の健全な成長を育む場が極めて重要である。保護者と学校の連携の場としては授業参観、家庭訪問、PTA活動等があり、市内各学校では規範意識を育てる教育を進め、公民館などの社会教育施設では生きる力を育むことを目指した事業を展開している。

今後とも教育や健全育成にかかわる機関が地域、保護者、学校との連携を密にし、諸課題への対応を図ってまいりたい。

議会に運営補助を実施している市町村に対し、都から交付されている補助金は、「東京都財政健全化計画」に基づく市町村への財政支援の見直し項目として挙げられており、こうした東京都の動きに対し、市長会を通じて補助の継続等を要望してきたが、現時点では見直しの内容について明確に示されていない。都の動向等に十分着目し、今後も引き続き市長会などを通じて都に協議、要請をしていきたい。

### 景気の低迷下 融資の状況は

質問 景気の低迷が長引き、中小企業は厳しい状況にあり、大手銀行、証券会社の相次ぐ倒産で金融不安はますます募る状況だ。金融機関の破綻に加え中小零細企業に対する銀行の貸し渋りが始まり、国民生活は一層不安なものとなり、中小企業の倒産はこの三月には、さらにふえると予測されているが、中小零細企業者への融資の現況はどうか。

市長 市内の商工業者の健全な活動を促進し、振興に寄与するため市では資金の融資を行っているが、平成七年度は四十件、融資額は九千八百一十一万円、平成八年度は七十一万円、平成九年度は三十一日現在で五十八件、一億三千九百六十万円で、二、三月を加えると前年度同様くらいになると考えられる。なお平成十年度に福生市中小企業振興資金融資条例の一部改正により、運転資金や設備資金等の充実を図っていききたい。



▲老化予防に欠かせない音楽療法

議会を傍聴してみよう
次の定例会は6月3日(水)からの予定です
本会議の傍聴はどなたでもできます。
くわしくは、議会事務局にお問い合わせください。
551-1511 (内線512)

# 委員会の審査から

## 建設委員会

今定例会では、常任委員会に二十四議案と陳情八件が付託され、また継続となっていた陳情十九件を合わせて、三月十七日、十八日、十九日の三日間、建設・厚生・総務の順で行われました。また、議会運営委員会は今定例会に於いて二月十四日から二十七日まで、九回行われました。

ここでは、各委員会から報告された主な議案の審査概要をまとめました。

## 建設委員会

現地視察の後、付託された議案、陳情の審査をしました。

### ◎平成十年度福生市下水道事業会計予算

予算総額は、三十一億八千四百九十九万一千円、委員の質疑に対する答弁として雨水管の工事を特別会計で行う意義は、地方財政法中の施行令で特別会計を設けることとされているとの答弁があり原案どおり可決されました。

### ◎平成十年度福生市受託水道事業会計予算

予算総額は、九億一千六百九十八万九千円、委員の質疑に対する答弁として、メーターの取りかえ等にあたっては適切な対応をしたい。また、導水ポンプ所の跡地は、過去に都から市に売却の話もあり、検討しなければならぬと考えている。

## 総務委員会

現地視察の後、議案、陳情を審査しました。

## 厚生委員会

視察の後、議案、陳情の審査をしました。

### ◎平成十年度福生市国民健康保険特別会計予算

予算総額は、三十三億四千六百四十六万九千円、委員の質疑に対する答弁として平成十年度は一万二千八百八十一世帯が対象で、被保険者は市民の三十三・三％であり、平均年齢四十六・六歳となる。税の収納率は、一般被保険者が八十六・四％退職者分が十八％であり、一人当たりの医療費は、一般被保険者分十九万二千八百円、退職者分二十八万五千四百九十七円となり、二十七市中では昨年で、下位の方にあるとの答弁があり、原案どおり可決されました。

### ◎平成十年度福生市老人保健医療特別会計予算

予算総額は、三十二億四千七百七十六万六千円、委員の質疑に対する答弁として、対象人員は延べ年間五万三千五百四十四人、受診率は二百五十九・九％を見込んでおり、総医療費は三十四億七千四百六十六万六千円との答弁があり採決の結果、賛成多数で可決されました。

## 議会運営委員会

今定例会にあたっては、九回開催され、本会議等の進め方の協議や付託された陳情の審査が行われました。

### ◎福生市議会の議員定数削減を求める陳情書

この陳情は平成九年十二月に提出され、以後四回にわたる審査を行いました。

### ◎福生市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例

委員の質疑に対する答弁として、当初なかった学割（一般定期の半額）を導入するもので、学生の利用は全体の四十％と見込んでいます。学割の導入による減収分は、一般財源で負担願うことになる。有

### ◎平成十年度防衛補助事業実施状況

平成九年度の防衛補助事業の実施状況や平成十年度防衛補助事業を協議しました。

### ◎平成九年度防衛補助事業の実施状況

周辺対策事業として、三箇所の公園整備、市民会館防音機能復旧事業、三中講堂改造除濕温度保持事業等、調整交付金事業として市道整備事

### ◎平成九年度防衛補助事業の実施状況

その他、横田飛行場の航空機燃料漏れ現場確認の報告、米空母艦載機の飛行訓練中止に関する要請や米海兵隊の東

料化により夜八時まで管理人が常駐し定期利用の場合、駐車スペースや安全性の確保が可能となるとの答弁があり、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。

# 特別委員会活動から

## 横田基地対策特別委員会

平成九年度の防衛補助事業の実施状況や平成十年度防衛補助事業を協議しました。

## 道路交通問題対策特別委員会

今委員会の開催までの活動内容について、委員長から報告がありました。その後理事者より、今年に入り都市計画道路三・四・三の二号線（新五日市街道）は基本幅員が十八メートルから二十二メートルに都市計画変更が決定し、三・四・五号線（新興多摩街

# 陳情

各委員会で審査された陳情の結果は、次のとおりです。

## 採択

◆陳情第九一二十四号 福生市議会の議員定数削減を求める陳情書

◆陳情第九一三十号 やなぎ通りと加美立体通り交差点に道路照明増設を求める陳情書

## 不採択

◆陳情第八一十号 乳幼児医療費助成制度における所得制限の撤廃を求める陳情書

◆陳情第九一十号 成人歯科健診事業の充実を求める陳情書

## 継続

◆陳情第八一九号 プラスチック製品の製造規制等を求める陳情書

◆陳情第八一四十六号 私立幼稚園保護者負担軽減補助の所得制限の廃止を求める陳情書

◆陳情第九一十六号 「未臨界核実験」など、あらゆる形態の核実験に反対する意見書採択に関する陳情書

◆陳情第九一十八号 公務員賃金の改善要求実現と人事院勧告の凍結・値切りに反対する陳情書

◆陳情第九一十九号 アメリカの軍事行動に日本を自動的に参戦させる、「日米防衛指針IIガイドライン」見直しに反対する陳情書

◆陳情第九一二十号 アメリカの「未臨界核実験」の中止と、あらゆる形態の核実験禁止、核兵器廃絶の実現を求める意見書提出についての陳情書

◆陳情第九一二十号 身体障害者用公衆電話ボックスの設置をNTTに要望することを求める陳情書

◆陳情第九一二十号 視覚障害者用交通信号機を設置するよう警察等に要望することを求める陳情書

◆陳情第九一十八号 市の公共施設へのわかりやすい名称を施した看板等の設置を求める陳情書

◆陳情第九一十九号 市内在の公共施設への案内標識設置を求める陳情書

◆陳情第九一二十号 老人福祉バスの停留所標識設置を求める陳情書

◆陳情第九一三十四号 西多摩衛生組合周辺地域の土壌汚染の実態調査を求める陳情書

◆陳情第九一十一号 年金制度改善を求める陳情書

◆陳情第九一十二号 ごみ分別減量に関する陳情書

◆陳情第九一十三号 介護保険制度の準備・施行に関する陳情書

◆陳情第九一十四号 さらなる医療制度改善に反対する意見書の採択を求める陳情書

◆陳情第九一十五号 人間らしく生き、人間らしく働くことを根底から破壊する労働法制全面改善に反対する意見書の採択を求める陳情書

◆陳情第九一十七号 医療制度の連続改善を求め、安心してかかる医療の充実を求める陳情書

◆陳情第九一十八号 新ガイドラインに伴う有罪法制化に反対する陳情書

◆陳情第九一十七号 駿河建設による住宅専用マンション建設に関する陳情書

◆陳情第九一三十一号 北田園二丁目八番、同十三番、同十四番の三叉路に街路灯設置を求める陳情書

◆陳情第九一三十二号 東町一番地と同二番地の間に街路灯設置を求める陳情書

◆陳情第九一三十三号 東町一番地と同二番地の間に街路灯設置を求める陳情書

◆陳情第九一三十四号 西多摩衛生組合周辺地域の土壌汚染の実態調査を求める陳情書

◆陳情第九一三十五号 西多摩衛生組合周辺地域の土壌汚染の実態調査を求める陳情書

◆陳情第九一三十六号 西多摩衛生組合周辺地域の土壌汚染の実態調査を求める陳情書

◆陳情第九一三十七号 西多摩衛生組合周辺地域の土壌汚染の実態調査を求める陳情書

◆陳情第九一三十八号 西多摩衛生組合周辺地域の土壌汚染の実態調査を求める陳情書

◆陳情第九一三十九号 西多摩衛生組合周辺地域の土壌汚染の実態調査を求める陳情書

◆陳情第九一四十号 西多摩衛生組合周辺地域の土壌汚染の実態調査を求める陳情書

◆陳情第九一四十一号 西多摩衛生組合周辺地域の土壌汚染の実態調査を求める陳情書

◆陳情第九一四十二号 西多摩衛生組合周辺地域の土壌汚染の実態調査を求める陳情書

◆陳情第九一四十三号 西多摩衛生組合周辺地域の土壌汚染の実態調査を求める陳情書

◆陳情第九一四十四号 西多摩衛生組合周辺地域の土壌汚染の実態調査を求める陳情書

◆陳情第九一四十五号 西多摩衛生組合周辺地域の土壌汚染の実態調査を求める陳情書

◆陳情第九一四十六号 西多摩衛生組合周辺地域の土壌汚染の実態調査を求める陳情書

◆陳情第九一四十七号 西多摩衛生組合周辺地域の土壌汚染の実態調査を求める陳情書

◆陳情第九一四十八号 西多摩衛生組合周辺地域の土壌汚染の実態調査を求める陳情書

◆陳情第九一四十九号 西多摩衛生組合周辺地域の土壌汚染の実態調査を求める陳情書



▲現地視察をする道路交通問題対策特別委員会委員 (3月23日の委員会にて)

# 編集後記

市議会だより第120号をお届けいたします。本号は平成十年三月定例会の審議事項と結果及び市政全般にわたる活発な一般質問の内容を中心に編集いたしました。市議会だよりに対する皆さまのご意見をお寄せください。

- ◇編集委員(議席順)
- 松山 清 遠藤洋一
- 須釜亮次 大野悦子
- 小野沢久 東田正治
- 林田 武